

授業科目名	図工科指導法(2100246)		
時間割名	図工科指導法(21111)		
時間割担当	松井典夫		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・1		

授業の目標・概要

図画工作科の授業の目標・内容・方法についての講義を行う。グループや個人で題材研究のテーマを設定し、指導計画、指導案を作成、模擬授業の実践を行う。模擬授業の振り返りにおいて、授業者、学習者それぞれが授業の改善点を議論する。

学習の到達目標

図画工作科の目標・内容・方法を理解し、授業設計や教材開発、授業技能など、基本的な学習指導の関わる実践力を養う。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
図画工作科指導法の授業計画と、授業目標を理解する。
- 第2回 図画工作科の性格と目標
芸術教科としての図画工作科の性格や目標を、過去の学習指導要領を紐解きながら学ぶ。
- 第3回 図画工作科の内容と指導
学習指導要領をもとに、図画工作科の各学年の内容と指導方法について学ぶ。
- 第4回 図画工作科の指導計画と評価
図画工作科の年間指導計画の一例から、指導計画のあり方と評価方法について学ぶ。
- 第5回 学習指導案
学習指導案の作成ポイントと、それぞれの項目が持つ意味について学ぶ。
- 第6回 模擬授業案作成
模擬授業案を作成し、吟味することによって、学習指導案の作成について学ぶ。
- 第7回 題材研究
模擬授業を行う題材について、吟味、精査し、内容と方法を決定していく。
- 第8回 模擬授業(デッサン)と振り返り-(1)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第9回 模擬授業(水彩画)と振り返り-(2)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第10回 模擬授業(工作)と振り返り-(3)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第11回 模擬授業(デザイン)と振り返り-(4)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第12回 模擬授業(鑑賞)と振り返り-(5)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第13回 図画工作科の授業と模擬授業総括
師範授業を参観し、模擬授業の総括を行う。
- 第14回 日本と世界の美術教育史
過去の美術教育の歴史について学ぶ。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

準備学習・復習及び授

- ・「小学校学習指導要領解説」図画工作編を読み、題材研究と授業案作成の参考にする。
- ・実際の実践例や小学校図画工作科の教科書を読んで理解する。

履修上のアドバイス及

図画工作科の模擬授業作成や実践を通して、図画工作科の授業における専門的な技能、知識を習得するとともに、他教科に通ずる教師としての専門性を身につけることを目指します。積極的な参加姿勢が個々人の学修成果に大きく結びつきます。

教材・教科書

文部科学省「小学校学習指導要領図画工作科編」

参考書

図画工作科学習指導案(松井)